



ポーランド シレジア・フィルハーモニー管弦楽団を迎えて

IPSA
International Piano School Association

ピアノ・コンチェルトとの夢の出逢い

- | | | |
|-------------------|------------------------------------|---------------|
| 高木 美沙子 (宮城幼稚園 年長) | ♪「ずいずいずっころばし」～ピアノコンチェルティエーノ | 蒔田 尚昊 |
| 稲富 羽音 (飯塚小学校 2年) | ♪ピアノとオーケストラのための「おもちゃのチャチャチャ」 | 越部 信義 |
| 上半 新之介 (添田小学校 6年) | ♪こどものためのピアノ協奏曲「不思議の国の冒険」I.II.III | 川崎 絵都夫 |
| 高橋 到我 (伊田小学校 6年) | ♪こどものためのピアノ小協奏曲 | 小森 昭宏 |
| 津村 潤之介 (立岩小学校 6年) | ♪子どものピアノ協奏曲 第1番「かっこうの鳴き声」I.II.III | ゼノン・コワロフスキ |
| 中谷 由奈 (中元寺小学校 6年) | ♪ピアノとオーケストラのための古典風協奏曲 第3番 I.II.III | ミホライ・グレッツキ |
| 西島 ほのか (嘉穂中学校 1年) | ♪ピアノとオーケストラのためのコンチェルト | アレクサンドル・ストルコフ |
| 手島 加央里 (田川高校 1年) | ♪ピアノ協奏曲イ短調 op.16 第1楽章 | グリーグ |
| 緒方 もも (東京芸術大学 4年) | ♪ヴァイオリン協奏曲ホ短調 op.64 全楽章 | メンデルスゾーン |



高木 美沙子



稲富 羽音



上半 新之介



高橋 到我



津村 潤之介



中谷 由奈



西島 ほのか



手島 加央里



緒方 もも

指揮: ミロスワフ・ブヴァシュチック / 管弦楽: ポーランド・シレジア・フィルハーモニー管弦楽団

2010年3月16日(火) オークホール

開演18:30 (開場18:00)

入場料 / 全席自由 **2,500**円(消費税込)

- ◆主催: 添田音楽愛好会
- ◆後援: 添田町教育委員会 田川市教育委員会 飯塚市教育委員会 嘉麻市教育委員会 赤村教育委員会
糸田町教育委員会 大任町教育委員会 川崎町教育委員会 香春町教育委員会 福智町教育委員会
オークホール愛好会 (社)全日本ピアノ指導者協会 田川支部 田川音楽協会
㈱ヤマハミュージック九州福岡店飯塚営業所 ㈱河合楽器製作所北九州店
朝日新聞社 西日本新聞社 毎日新聞社 読売新聞西部本社
- ◆マネジメント: アイエムシーミュージック
- ◆チケット取扱: 中山医院 ☎0947-82-0471
- ◆お問合わせ: 添田音楽愛好会事務局 中山 ☎0947-82-0471 中島 ☎090-8623-7563
オークホール
〒824-0601 田川郡添田町庄952 ☎0947-82-2559 (JR日田彦山線 西添田駅下車すぐ)

International Piano Schloß Association

◆音楽教育の一環としてのコンチェルトの必要性◆

近年世界各国で行われている国際コンクールにおいて、日本人の入賞者が急増していることをみても明らかであるように、日本におけるピアノ教育は急激な進歩をとげています。国際ピアノ・シユロス研究会[IPSA]では、現在のピアノ教育をより一層発展させ、これからの音楽教育に何が大切であるかを考えた時、演奏テクニックと豊かな幅広い音楽性を養い育てるためには、コンチェルトの早期導入が必要であると確信し、各国の著名作曲家に芸術的教育素材としてのコンチェルトを委嘱致しました。易しいテクニックで演奏でき、しかも音楽性に優れた、今までにはないオリジナルな作品ばかりです。日本、アジアをはじめとしてヨーロッパなどにおける「新しいピアノ・コンチェルトとの出会い」公演も今年で17年目を迎える事となりました。今後も日本を中心に世界各地での公演を予定しております。国際ピアノ・シユロス研究会[IPSA]はピアノ教育の発展を目標とし、今後も皆様の御協力と御支援を心よりお願い申し上げます。

管弦楽

Polish Silesian philharmonic Orchestra

ポーランド・シレジア・フィルハーモニー管弦楽団



ワイセンベルク、マウツィオ・ボリーニ、ムステスラフ・ロストロポーヴィチ、クリスティアン・ツィメルマン、ピオトル・パレチニ、コンスタンティン・アンジェイ・クルカ、クシシュトフ・ヤブウォンスキ、アントニ・ヴィットといった数多くの世界的アーティストとの共演を果たしている。

ポーランド・シレジア・フィルハーモニー管弦楽団は、ポーランドが戦火に見舞われる中、初回公演に向けて準備を行い、1945年5月26日にポーランド音楽プログラムによりデビュー。その後、1974年に合唱団、1981年に室内楽団が設立される。カール・ストリーヤが37年に渡り芸術監督を務め、地元のコミュニティへの音楽提供、およびポーランド音楽の普及活動を熱心に行い、その功績が高く評価され今日に至る。

レパートリーは多岐に渡り、シレジア出身の作曲家による現代作品にも力を傾注している。また、教育活動にも熱心に取り組み、1955年以降、州外に渡り年間400公演近くの教育的コンサートを開催している。若い聴衆に音楽を届けることに強い意義を感じ、学校で生演奏による音楽会を開催した最初の楽団でもある。子どもの日の祝祭に行われる「異文化提携的(生音楽とおとぎ話、音楽のBGM)イベント」は恒例となり、子供達や若年層に強い支持を得ている。

これまでに、グラジナ・パツヴェイチ、ワグダ・ウイコリスカ、ユージン・オーマンディ、レオポルド・ストコフスキ、カルロ・ゼッキ、キリル・コンドラシ、ズビン・メータ、ダヴィット・オイストラフ、イーゴリ・オイストラフ、ヘンリク・シェリング、アルトゥール・ルビンシュタイン、アレクシス・

指揮・芸術監督

Mirosław Błaszczyk

ミロスワフ・ブワシュチック



カトヴィツェ音楽院にて指揮法、合唱指揮、作曲、音楽学理課程学ぶ。カール・ストリーヤ教授のクラスを主席で修了し、現在は同校にて講師を務める。2005年、音楽博士号を指揮科で取得、2009年には博士号取得後の講師としての資格を授与された。1991年、第4回フィテルベルク国際指揮者コンクールにて入賞、その後奨学金を得てロサンゼルスに留学する。

1995年、ピャウイストク州立管弦楽団とともにアメリカツアーを行い、カーネギー・ホールで開催されたラストコンサートは人々を感動に導いた。1996年～98年、ボズナニ・フィルハーモニー管弦楽団の音楽監督を務め、その後1998年5月より、シレジア・フィルおよび、フィテルベルク・コンクールの芸術監督となる。

1999年～2002年にかけて、ポルト国際ピアノコンクールの指揮責任者として活躍。2003年には、モロッコ国際ピアノコンクールの審査員を務める。2007年春、ウクライナ・フィルとともに、第7回ホロヴィッツ国際ピアノコンクールの入賞者コンサートをキエフで開催。

これまでに、ポーランド国立放送交響楽団、ワルシャワ国立フィルハーモニー管弦楽団とも共演。数多くのオーケストラと共にポーランド国内のみならず、オーストリア、中国、フランス、スペイン、北アイルランド、カナダ、韓国、リトアニア、ラトヴィア、メキシコ、ドイツ、ポルトガル、アメリカ、スウェーデン、ウクライナ等でコンサート・ツアーを開催し、聴衆を魅了している。

レコーディング活動も熱心に行い、シレジア・フィルの為にヴォイチェク・キラルが作曲した「交響曲第5番」は、世界

初録音としてDUXより発売されている。

2001年には、その功績に対しカトヴィツェ市長より文化勲章が贈られた。また2009年には、ポーランド国家より第2勲等(銀メダル)が授与された。

生誕200年記念 究極のショパン全集誕生

THE COMPLETE PIANO WORKS

ショパン ピアノ全集

前奏曲・練習曲・協奏曲など全209曲収録

協奏曲を含むピアノ曲、209曲をCD16枚に渡り収録
ショパン国際ピアノコンクール歴代優勝者・入賞者を中心とした一流アーティスト陣による演奏

84ページにわたる日本語ブックレット付き

譜例付き曲目一覧、各曲目の詳細解説、収録アーティスト紹介、ショパンの生涯年表を84ページにまとめたブックレット付き

レコード芸術
「推薦盤」

CD16枚組 + 日本語ブックレット(全84ページ)

9,800円(税込)

お買い求めは楽器店・CDショップ・弊社WEBサイトへ

